

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
情報処理科 (モバイルアプリ開発コース)											
モバイルプログラミング 1											
対象	1年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	木崎			実務 経験	有	職種	システムエンジニア				
授業概要											
(モバイルアプリ開発コース) 「プログラミング基礎」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学びます。											
到達目標											
Androidアプリケーション開発の基礎技術であるJava言語を習得する。基本文法やオブジェクト指向の概念を理解し、プログラムを作成する上で基本となる型や変数、演算、制御構造(順次、選択、繰り返し)などを利用したプログラムの読解と作成ができるようになることを目標とする。クラス、メソッド、インスタンスの概念を理解し、オブジェクト指向特有のクラス設計手法に関する知識を得ることも目指す。											
授業方法											
Java言語の基本文法を理解し、Eclipseの操作、プログラムの実行手順を理解してから、クラス、インスタンス、参照の実例コードを読解しオブジェクト指向の基礎知識を得る。さらにカプセル化、ポリモルフィズムなど、オブジェクト指向プログラミング開発手法の有効性を理解し活用できるようにする。また、前回の講義内容を理解し、習得済みであることを前提として進める。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
パソコン、教科書を忘れずに持参すること。Oracle Certified Java Programmerの資格取得を推奨する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
Java入門編ゼロからはじめるプログラミング											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス										
第2回	Java言語についてレポート作成										
第3回	Javaプログラム実行手順を知る										

モバイルプログラミング 1

第4回	Java言語の基本
第5回	条件分岐と繰り返し
第6回	クラスの基本
第7回	メソッド(1)
第8回	メソッド(2)
第9回	クラスの一步進んだ使い方(1)
第10回	クラスの一步進んだ使い方(2)
第11回	継承
第12回	多態性
第13回	抽象クラスとインタフェース(1)
第14回	抽象クラスとインタフェース(2)
第15回	総まとめ